

ひろば大代

NO. 248

大代公民館



卒業おめでとう

三月に入り、季節は卒業シーズンを迎えました。今年の第三中学校の卒業生は二十八名で、その内大代の卒業生は四名です。勉学に部活動に努力され先日卒業の日を迎えられました。

おめでとうございます。

卒業生の皆さんが思い出・抱負など寄せてくださいました。

夢

四日市 谷口将人

自分は高校に入ったら、陸上をやるつもりです。目標としては、一つでも上の大会に出場することで、兄に

負けないうようにしたいです。

あともう一つ、勉強を頑張って進学したいと思っています。そして自分の特性にあつたところに行けるように努力したいです。

両方とも、自分の夢なので高校に入ったら頑張りたいです。

早かった三年間

川上 鈺 翔子

三年間はあつという間でした。小学校時代の六年間は何と長いんだろうと思っていたのに。中学校というものはこんなにも短いのでしょうか。

しかし、短く思う中でも、思い出はこの場では言えない位たくさんあります。授業中のことだったり、行事や休み時間のことだったり。

これからの人生、いろいろなことがあり過ぎると忘れていく思い出も増えてしまいかもれません。もし全て忘れてしまわないように出来るのなら、そうしてみたいものです。

これからについて

下市 原田純子

卒業にあたって私は目標を持って頑張りたいです。ことに勉強においては世間に認められる様、今まで以上に頑張りたいです。

義務教育も終わり、人数も増え、色々な人から刺激を受けるでしょうが、冷静に落ち着いた高校生活を送りたいと思います。

特に部活動では中学校には無かった初めての分野や経験を生かした継続的な部活の二つに分けられます。何か一生懸命取り組み始める事が見つけられると良いと思います。

卒業して

八反田 森 智子



三年間はあつという間に過ぎていったような気がします。でもすごくたくさんさんの思い出があります。特に最後の文化祭はすごく盛り上がりたて楽しかった

たです。いい思い出になりました。

私は入学当時、こんなクラスでやっていけるのかなど不安でしたが、今はこのクラスですごくよかったです。と思っています。

別れ別れになるのは悲しいですが、高校に行ってもみんなの事を思い出したりして頑張りたいと思います。

竹炭焼を始めました

大代竹炭生産組合長 泉 朋納

今回、森の恵育成事業の一環として市の指定をうけ、竹炭を生産する運びとなりました。この事業の導入については今は亡き市原氏が現職の時、大変な努力をされ指定を受けた事業であります。

近年林業の生産性の低下と高齢化や担い手の不足により、大代地域の森林も荒廃が進んでいます。特に竹については造林地内への竹の進入が切実な問題となっております。

この竹も以前は「カキ」養殖の重要な資材であったのに今では省^{かき}り見られなくなってきました。この竹処理対策として竹炭作りを計画した次第であります。

大代地区もかつては炭焼きが盛んでありましたが、時代の進歩と共に炭焼きに携わる人もいなくなり、窯の数も減り、炭焼きの技術を伝える人材も少なくなっているが、竹炭の取組みにより林業技術の継承、森林の再生など地域の活性化に少しでも役立てばと考えます。

この事業は高齢者を対象としているため築窯に当たっては利便性を第一として四日市の宗通寺後ろを選定しました。会員の大半はかつては炭焼きを経験した方ではあるものの既に相当の年数が経っているので、昔を思い出しながらの作業で失敗と苦勞を重ねながらも、会員が一体となり、知恵を出し合った甲斐あって、立派な炭を窯出しした時の皆の笑顔は満足感に満ちたものであり、市原さんが健在であったなら

どんなに喜んで下さったものか。これからは竹炭製造を通してふれあいの場を拡げ、生き甲斐を持って一日を元気で生き抜いて行きたいものと考えています。

* 四月の行事予定 *

◆ 11日(火) 幼稚園入園式

◆ 11日(火) 小学校入学式

◆ 11日(火) 第三中学校入学式

◆ 16日(日) 福祉弁当

◆ 18日(火) 編集委員会

◆ 23日(日) 連合自治会

★——★おしらせ★——★

◎大代公民館より

◎大代地区社協より

◎大代連合自治会より

水上町 郷原康夫様から

それぞれ金一封のご厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。

